

**答** 消費生活センターの取組の中で、消費者に求められるモラルなども啓発できるように検討したい。

眞鍋 顕 伸 議員



1 (議案質疑)  
西条市アウトドア活動拠点施設の指定管理者の指定について

**アウトドアオアシス石鎚指定管理の在り方は？**

**問** 市の財政が厳しい中、好調な経営状況を踏まえ指定管理委託料の減額も考えられるが、増額理由は何か。

**答** 市が負担していた光熱水費を指定管理者が支払うことによる増額が主な理由である。なお本施設については、指定管理者の経営努力による適切な管理運営と集客

がなされ、活性化が図られていると評価している。

佐々木 充 議員



1 (一般質問)  
SNSにおける誹謗中傷対策について

**本市独自の条例制定を！**

**問** インターネットが普及する一方で、SNSによる誹謗中傷が多発するなど

被害も増加している。被害者救済や中傷抑止を目的とした条例を制定する考えはないか。

**答** 西条市人権文化のまちづくり条例を遵守し、関係機関と連携しながら各種施策を実施することで、被害者救済や誹謗中傷の抑止につながるかと考えており、現時点ではこれらに特化した条例制定の予定はない。

西条市民 クラブ

佐伯 利彦 議員



1 (一般質問)  
みどりの食料システム戦略について

**有機農業の推進を！**

**問** 令和3年に国の農業政策として決定したみどりの食料システム戦略の下、

食料の安定供給、農林水産業の持続的発展及び自然環境の保全に努める必要があるが、どのように展開していくのか。

**答** 本戦略は、生産者の減少などによる生産基盤の脆弱化が懸念され、地域の将来を見据えた持続可能な新しい食料システムの構築が急務となる中、中長期的な観点

から調達、生産、加工、流通消費の各段階の取組及び環境負荷軽減を推進するものである。

本市では、国の環境保全部型農業直接支払交付金を活用し、有機農業や環境保全効果の高い営農活動に取り組み、農業者団体に対し助成を行い、農業生産に由来する環境負荷の軽減に取り組んでいる。しかし、有機農業は、慣行栽培に比べ労力がかかる上に収量や品質が不安定であり、期待する販売価格水準に達しないなどのリスクから、全国的にも伸び悩んでいる。

今後は国の動向を注視するとともに、関係機関と連携し、農業者との調整を図りながら主体的に有機農業に取り組める体制の整備について検討したい。



有機農法で栽培されたブラックベリー

公明党 西条市議員団

高橋 淑子 議員



1 (一般質問)  
はり・きゅう・あん摩・マッサージの施術に対する助成について

**お悔やみコーナーの設置を！**

**問** 遺族の負担軽減、住民サービス向上のために、

先進事例に倣いお悔やみコーナーを設置する考えはないか。

**答** システム導入や、職員体制などの課題があるため、総合支所の見直し状況も踏まえ、死亡後の手続きが最小限で済むよう検討したい。